

日本語教育機関教育活動評価自己点検・評価票

日本語教育機関名: 新東京国際語学院				
点検・評価項目				
1. 教育目的	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
【理念】 『日本語「が」できる』ではなく『日本語「で」できる』力、特に1人1人のニーズを学習者自身が把握し、その解決策を模索し自ら対応できるような力を身に付けることを目指す。	A	理念に沿った教育を行っている。	教職員会議、および教員・学習者を対象としたアンケート調査で確認をしている。	—
2. 教育目標	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
2.1 学習者の希望に合った卒業後の進路実現率100%を目指す。	A	目標達成のための仕組みがある。	進路指導において、担当者とその役割を明確に定めている。	—
2.2 参照枠およびCAN-DOを基に、学習者自身が他者と共に学びを評価し、希望の進路へ到達できる学習計画を立て、その計画を実行するための学習能力と自己管理能力を養成する。	A	養成することができる。	教職員会議、および教員・学習者を対象としたアンケート調査で確認をしている。	—
2.3 異文化である日本社会でよりよく生きる力を育成する。	A	育成することができる。	教職員会議、および教員・学習者を対象としたアンケート調査で確認をしている。	—
2.4 教職員は学習者の伴走者として寄り添う形で生活支援、進路指導及び教育サービスを提供する。	A	提供することができる。	教職員会議、および教員・学習者を対象としたアンケート調査で確認をしている。	—
3. 学校運営	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
3.1 日本語教育機関の告示基準に適合していることを年1回以上確認している。	A	確認している。	校長が行い、その内容を職員会議で周知している。	—
3.2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	A	1年計画及び3年計画を作成し、職員会議で共有されている。	職員会議にて、計画を職員に説明している。	—
3.3 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。	A	行われている。	社内規定に基づいて行われている。管理方法は日本語教育事業とその他事業で分かれている。	—
3.4 予算編成が適切に行われている。	A	校内規定があり、適切に執行している。	毎月の財務推移を職員会議で共有している。	—
3.5 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	A	仕組みがある。	当校が持つ他校とのネットワーク及び研究会等に出席して、情報を得ている。	—
4. 教育活動を担う教職員	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
4.1 校長、副校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	校内規定によって定めている。	職員会議にて説明している。	—
4.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	A	明示している。	教員採用時及び教務会議にて説明している。	—
4.3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	A	明文化している。	採用方法についてはHPに、雇用条件については、雇用契約書に記載している。	—
4.4 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に努めている。	A	防止に努めている。	授業時、休憩時間等目を配っている。問題があった場合、教職員が対応に当たり、防止に務めている。	—
4.5 教員及び職員の評価を適切に行っている。	A	適切に行っている。	人事考課表を基に、評価・フィードバックを行っている。	—

5. 教育環境	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
5.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている。	A	保たれている。	全ての教室に開閉式の窓、エアコンなどの設備を設置している。	—
5.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	A	確保している。	図書室および空き教室を自習スペースとして開放している。	—
5.3 教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A	利用可能である。	図書やメディアが整備されている。	—
5.4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備を有している。	A	設備を有している。	大型電子黒板を設置している。	—
5.5 教員及び職員の業務に必要なスペースを確保している。	A	確保している。	教職員および非常勤用執務スペースがある。	—
5.6 法令上必要な設備等を備えている。	A	備えている。	定期的に確認している。	—
5.7 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A	危険のない形状である。	緊急時にも問題がない状態である。	—
5.8 施設、設備の定期的な安全点検が行われている。	A	行われている。	法令に基づいたメンテナンスをしている。	—
5.9 学校内の衛生管理を行っている。	A	行っている。	毎日の清掃のほか、業者による定期的な清掃、および消毒液・マスクなどを常時完備している。	—
6. 教育課程の計画	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
6.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。	A	作成している。	理念・教育目標に合致したカリキュラムを作成している。	—
6.2 教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	A	編成している。	カリキュラム及びシラバスを作成している。	—
6.3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。	A	設定している。	「日本語教育の参照枠」の枠組みに沿ったカリキュラム、シラバスを作成している。	—
6.4 教育目標に合致した教材を選定している。	A	選定している。	主任教員が中心となって、教育目標に合致した教材を選定している。	—
6.5 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	A	留意している。	教職員会議において、出典の明示を周知している。	—
6.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	A	理解が得られている。	教職員会議での共有だけでなく、日常的に教務室で議論を行っている。	—
6.7 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A	配置している。	主任教員が中心となって行っている。毎学期に教員に対し、希望の聞き取り調査も行っている。	—
6.8 体験を生かした学習、学生の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習をとり入れた授業運営ができています。	A	できている。	学校行事等を通して体験学習を行っている。また授業内においても、自律学習の時間を取り入れている。	—

7. 教育課程の実施	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
7.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A	行っている。	入学時にはプレースメントテスト、学期末には学期末テストを実施して、結果に応じたクラス編成を行っている。	—
7.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	A	伝達している。	教職員会議において、伝達している。	—
7.3 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	A	記録している。	Slackを用い、授業内容および学習者の様子を記録している。	—
7.4 期間ごとの各課程の到達目標が達成できている。	A	達成できている。	形成的評価および統括的評価において確認している。	—
7.5 体験活動、行事などの実施・管理体制ができている。	A	体制ができている。	活動・行事ごとに担当者を設定し、実施要領および危機管理について教職員会議で共有している。	—
7.6 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。	A	行っている。	副校長および主任教員が行っている。	—
8. 学習の成果及び卒業の認定	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
8.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A	管理している。	ポートフォリオ(Google classroomおよび紙ファイル)として管理している。	—
8.2 評価対象となる活動のたびに、判定結果を的確に学生に伝えている。	A	伝えている。	判定の結果およびその根拠を活動の度に伝えている。	—
8.3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A	検証している。	教職員だけでなく学習者にも評価システムに関する意見を聞いている。	—
8.4 卒業の判定を適切に行っている。	A	行っている。	卒業判定基準を設け、周知している。	—
8.5 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	A	把握している。	試験結果の写しを保管している。	—
8.6 卒業または修了後の進路を把握している。	A	把握している。	入学許可証および内定通知書を保管している。	—

9. 学生支援	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
9.1 留学生生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。	A	特定され、周知されている。	教職員会議で周知している。	—
9.2 留学生生活に関するガイダンスを定期的実施し、その効果を確認している。	A	確認している。	オリエンテーション時、および学期末時に指導をしている。	—
9.3 日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。	A	行っている。	授業時および課外活動時に行っている。	—
9.4 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	A	行っている。	オリエンテーション時に資格外活動に関するルールを説明している。また、毎学期末に活動状況に関する聞き取り調査を行っている。	—
9.5 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。	A	加入している。	国民健康保険加入の補助、および学校として全国日本語教育機関共済協同組合に加入している。	—
9.6 重篤な疾病や傷害、事故があった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	A	定めている。	対応マニュアルに沿って対応を行う。	—
9.7 危機管理体制を整備している。	A	整備している。	対応マニュアルに沿って対応を行う。	—
9.8 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	A	実施している。	入学時にオリエンテーションで説明して、避難訓練も実施している。	—
9.9 健康診断の予定と実施状況、さらに、診断結果において問題があった学生への対策をとっている。	A	対策をとっている。	医療法人社団 予防会と連携して対策をとっている。	—
9.10 進路指導担当者を特定している。	A	特定している。	本務等教員および校長が指導している。	—
9.11 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	A	閲覧できる状態にある。	教室、図書室および職員室に最新の資料があり、情報の閲覧ができる。	—
9.12 学校として組織的に進路指導に取り組む体制ができている。	A	体制ができている。	役割分担ができおり、その役割に沿って指導を行っている。	—
9.13 社会貢献・地域貢献となる活動を行っている。	B	行っているものの、結果が出ていない。	校舎1Fホールを用いた地域交流会および、近隣小中学校との交流会の実施を検討中。	担当者を決めて、企画運営を継続的に行っていく。
9.14 学生ボランティア活動への支援を行っている。	A	行っている。	定期的に地域の清掃、美化に務めている。地域ボランティアへの参加も促進している。	—
9.15 地域の文化施設や自然、伝統行事等を学生指導に取り込み、活用できている。	A	取り組むことができている。	授業内で紹介、および課外活動等で体験できるよう取り組んでいる。	—

10. 教育活動の改善を継続的に行う仕組み	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
10.1 学生による授業評価を定期的実施している。	A	実施している。	毎学期末に授業アンケートを実施し、その結果を教職員会議で共有している。	—
10.2 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	A	反映されている。	教職員会議で改善案を共有し、教員同士の相互授業見学において確認している。	—
10.3 教育課題や現場のニーズに応じ、教務会議や校内研修を実施している。	A	実施している。	職員会議、OJT研修、初任者研修等をおこなっている。	—
10.4 教務会議や校内研修の結果が、教育活動等の取組みに反映されている。	A	反映されている。	教員同士の相互授業見学等において確認している。	—
11. 財務	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
11.1 財務状況は、中長期的に安定している	A	安定している。	定員数の90%以上の学生数を確保できている。	—
11.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	A	保たれている。	予算通りに運営ができています。	—
11.3 適正な会計監査が実施されている。	A	実施されている。	顧問税理士が監査している。	—
11.4 設置母体と学校の経営が、明確に区分されている。	A	区分されている。	月次財務報告書から日本語学校事業と、その他事業で分かれています。	—
11.5 海外の代理店等への仲介手数料は適正である。	A	適正である。	定期的に他校および仲介業者と情報交換を行っている。	—
12. 入国・在留に関する取り組み	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
12.1 入国・在留に関する事務担当者特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	A	定めている。	職員会議で担当者の役割を確認および周知している。	—
12.2 担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	A	行っている。	講義および他校と連携し最新の情報を得ている。	—
12.3 出入国在留管理庁により認められた申請等取次者を配置している。	A	配置している。	職員3名が申請等取次者である。	—
12.4 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。	A	把握している。	生活指導担当者が中心となって、住所、電話番号、資格外活動状況等の情報を管理している。	—
12.5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等が発生させないための取組みを継続的に行っている。	A	行っている。	オリエンテーション時および授業時間外に警察署の方を招いて講習をいただいている。	—

13. 入学者の募集と選考	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
13.1 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A	行っている。	職員会議で年間募集計画を共有している。	—
13.2 教育内容、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A	開示されている。	ホームページにて英語版での情報提供を行っている。	—
13.3 海外の募集代理人等に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	A	行っている。	ホームページで適切な情報提供をし、仲介業者との契約を交わしている。	—
13.4 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A	行っている。	信頼のおける仲介業者と連携しているだけでなく、必要に応じて募集国に職員を派遣し、適切な選考試験を行っている。	—
13.5 入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力、経費支弁能力等を根拠資料で確認する等、適切な方法によって確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A	確認している。	信頼のおける仲介業者と連携しているだけでなく、必要に応じて募集国に職員を派遣し、適切な選考試験を行い確認している。	—
13.6 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A	明示されている。	ホームページおよび募集要項、パンフレットにおいて、正しい情報を明示している。	—
13.7 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	A	公開されている。	ホームページ内の学則および募集要項にて公開している。	—
14. 学校情報の公開	評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法
14.1 ホームページ等で機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報を公開している。	A	公開している。	ホームページに情報を記載している。	—
14.2 入学希望者への誇大な表現、不適切な表現がない。	A	不適切な表現はない。	3カ月に一度、校長および副校長が内容を確認している。	—
14.3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	A	行っている。	ホームページにて英語版での情報提供を行っている。	—
<p>■総括 「日本語『で』できる力」の養成を教育理念の核に据え、学習者の自己管理能力や異文化適応力の育成において、概ね全ての項目でA評価に達した。 運営面では、告示基準の遵守確認や中長期計画の策定、財務状況の共有などが組織的に行われており、安定した経営基盤が確認された。 教育活動においては、「日本語教育の参照枠」に準拠したカリキュラムを編成し、SlackやGoogle ClassroomといったICTツールを活用したポートフォリオの管理、およびきめ細やかな進路指導が実践されている。 一方、学生支援における「社会貢献・地域貢献」の項目については一部未達成であり、地域住民との交流会の実施など、社会に開かれた学校づくりに向けた体制整備が今後の重要な課題である。</p>				
<p>■改善計画 ①地域連携活動の具体化と継続(評価B項目の改善) 現在検討中の地域交流会および近隣小中学校との交流会について、専任の担当者を配置し、年間計画に基づいた継続的な運営体制を速やかに構築する。 ②最新の教育動向を反映したカリキュラム・評価システムの継続的な見直し 昨今の日本語教育を取り巻く制度改正や、「日本語教育の参照枠」に基づく評価の多様化など、教育現場に求められる要件は常に変化している。現状の評価システムが機能していることに満足せず、外部の研修会や他校とのネットワークを通じて常に最新の情報を収集する。 得られた知見を教務会議や校内研修を通じて共有し、教育目標や熟達度の基準が時代の要請に適合しているか、定期的に検証・アップデートを行うサイクルを確立する。</p>				

評価方法

A:「達成されている」あるいは「適合している」項目

B:「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が可能な項目

C:「未達成」あるいは「適合していない」項目